

あかりがつくものは？

ふしぎを見つけるときの評価基準

S

あかりがつくもののふしぎを理由といっしょにせつ明でき、さらに何と何をくらべて、どこをふしぎに思ったのかをれいをあげてせつ明できている。

A

あかりがつくもののふしぎを見つけることができ、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できている。

B

あかりがつくもののふしぎを見つけることができているが、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できていない。

C

あかりがつくもののふしぎを見つけることができず、どうしてふしぎに思ったのかをせつ明できていない。

具体的な記述の例

※学習課題に直接向かう「ふしぎ」でなくとも比較することで見つけた「ふしぎ」は質が高いと考える

「何に注目してくらべた？」
色と手ざわり。

「ふしぎに思うこと」
同じ銀色のものでも手ざわりのちがいであかりがつくものをつかないものがあること。

「ふしぎに思った理由」
銀色のものはあかりがつくものが多いのに、ザラザラした銀色のゴムはつかないから。

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
色と手ざわりに注目し、あかりがつくものをつかないものをくらべたら、銀色だとつくと思ったのに、手ざわりがちがうとつかない場合があることに気づき、ふしぎが見つかった。

「何に注目してくらべた？」
色と手ざわり。

「ふしぎに思うこと」
同じ銀色のものでも手ざわりのちがいであかりがつくものをつかないものがあること。

「ふしぎに思った理由」
銀色のものはあかりがつくものが多いのに、ザラザラした銀色のゴムはつかないから。

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）

「何に注目してくらべた？」
色と手ざわり。

「ふしぎに思うこと」
同じ銀色のものでも手ざわりのちがいであかりがつくものをつかないものがあること。

「ふしぎに思った理由」
銀色のものはつくと思ったから。
※説明が不十分

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）

「何に注目してくらべた？」
わからない（書けていない）

「ふしぎに思うこと」
あかりがつくことがおもしろかった。

「ふしぎに思った理由」
わからない（書けていない）

「ふしぎの見つけ方について思ったこと」
わからない（書けていない）